

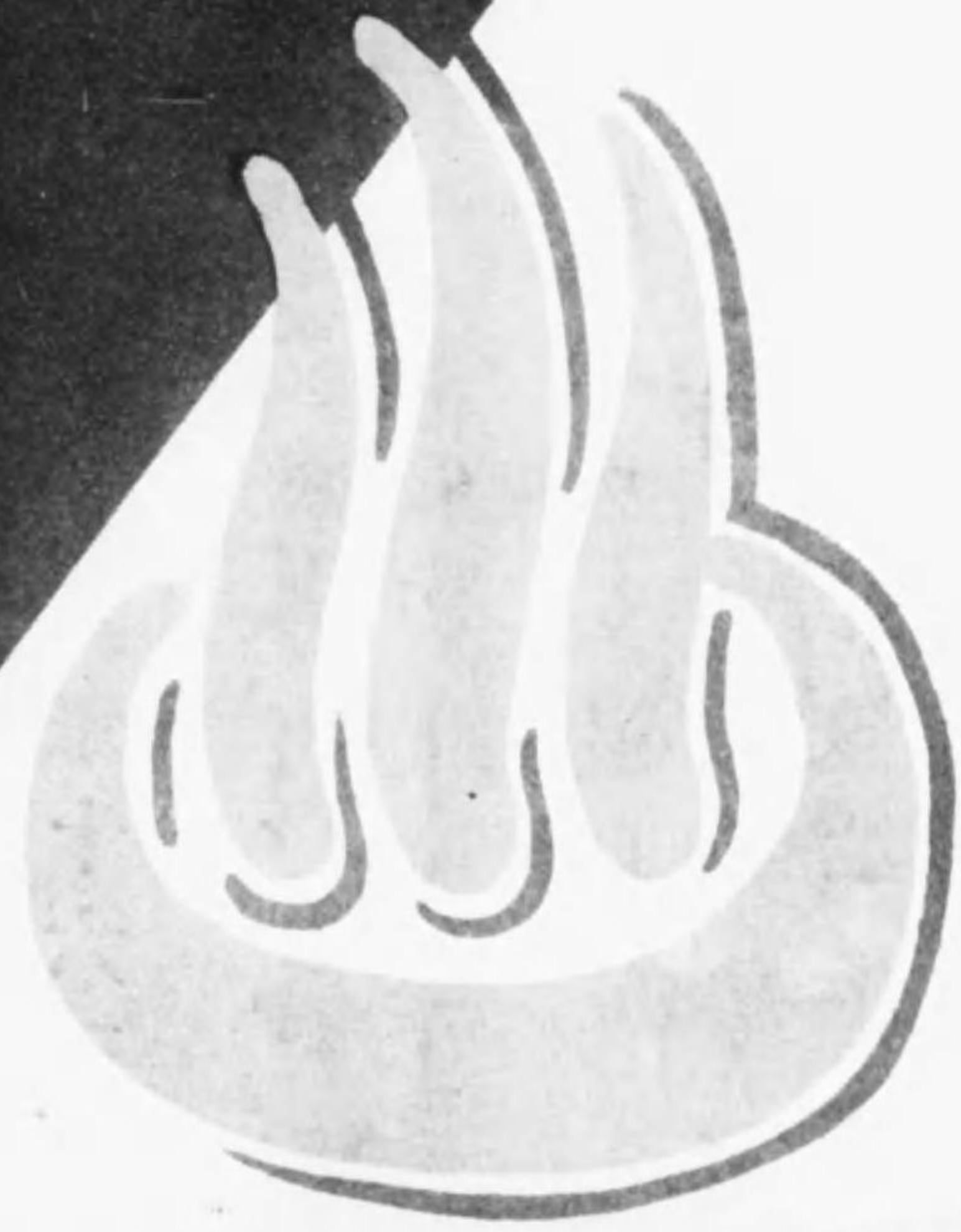
KITANIPPON ONNENNAI

北日本温泉案内機関誌

特250

443

北日本温泉案内



発行所 産業社 青森

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14

始

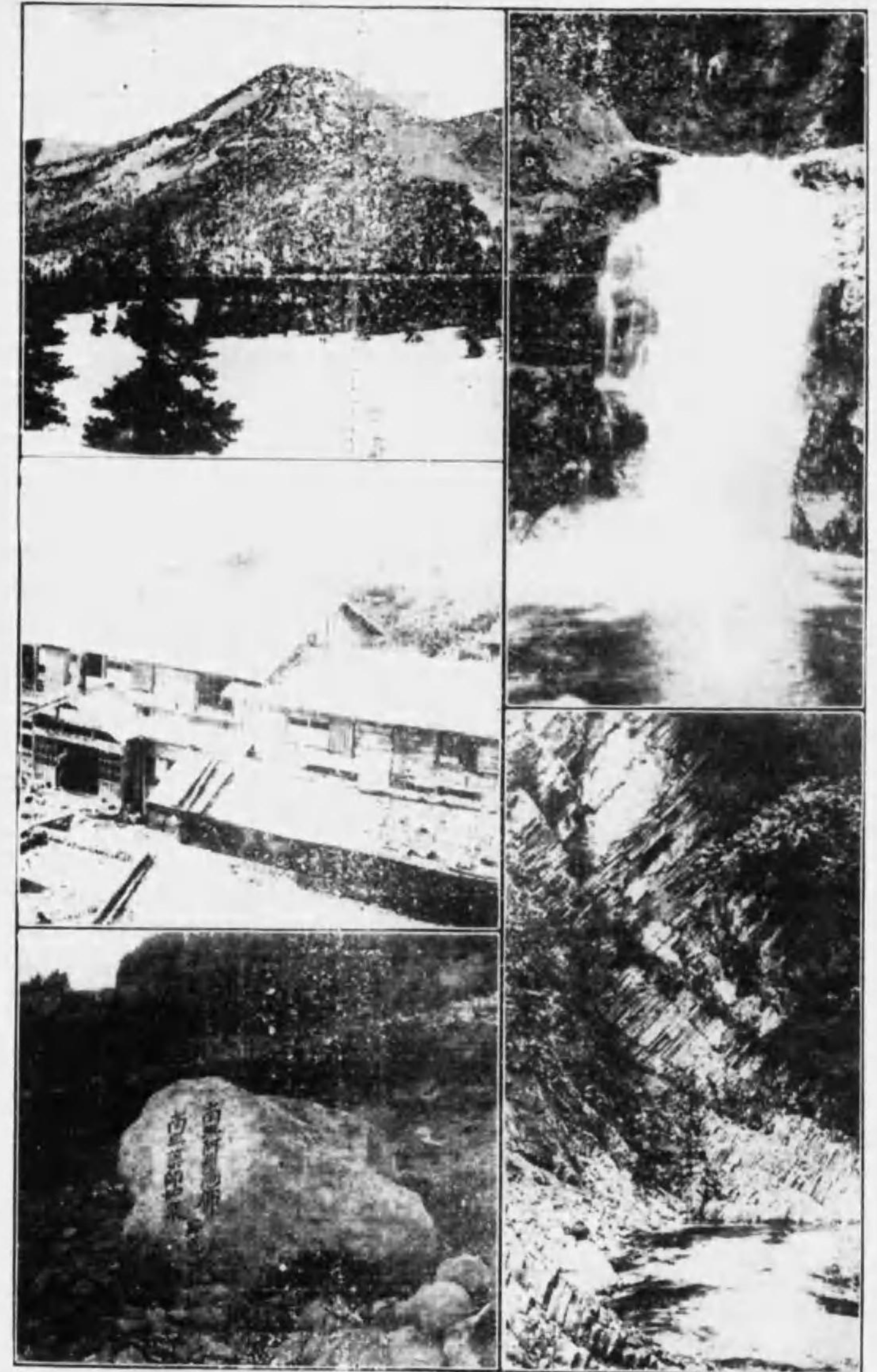


45 250.
443

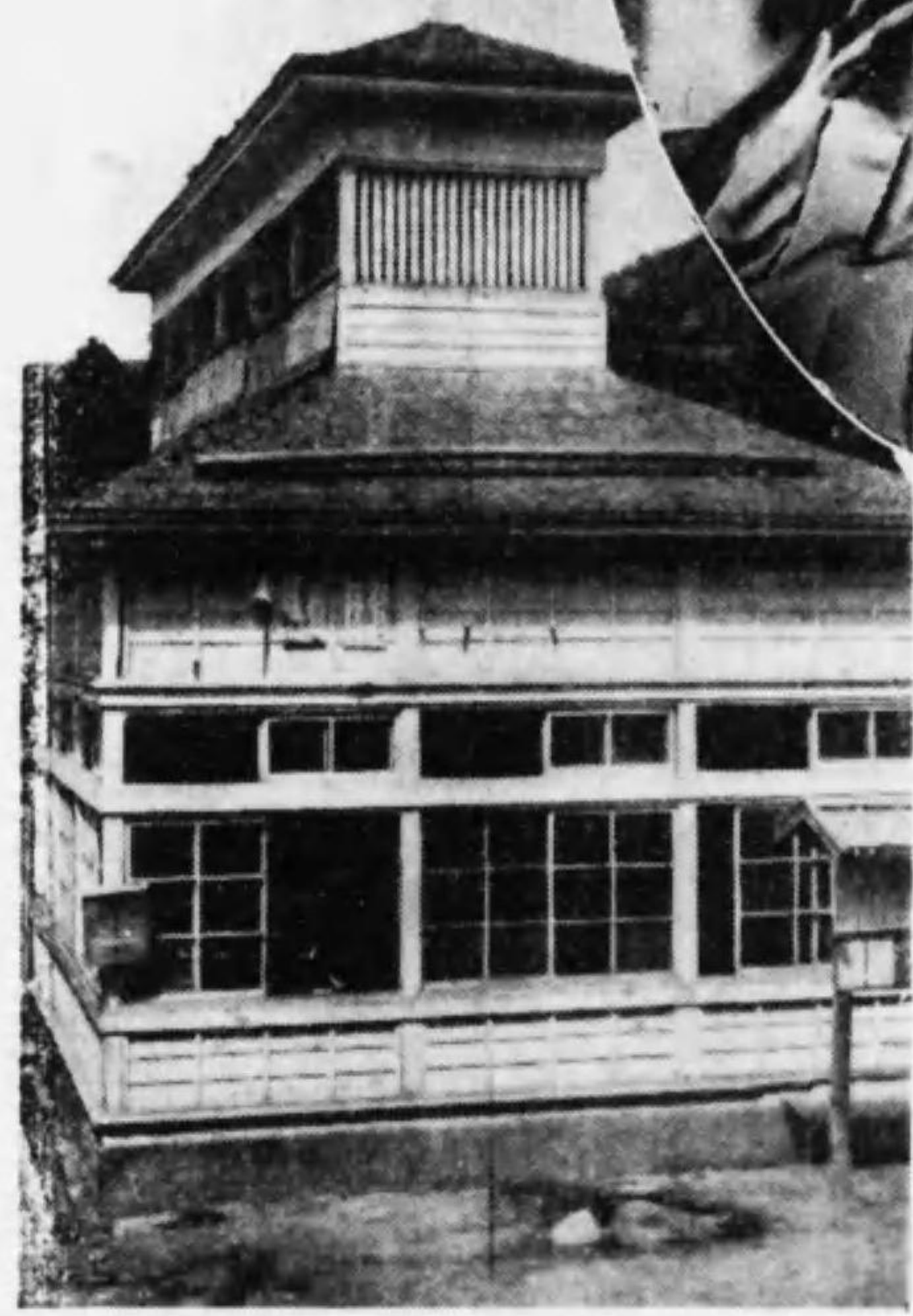
秋田縣北秋田郡矢立村大湯澤
奥羽本線陳場驛より馬車十六丁

日榮館 日景溫泉事務所

リウ化水素含有鹽性イワウ溫泉
「ラヂウム」を含む三日一週りの溫泉
設備完全 浴場清淨 風光妙美



岩木材流奔倉々城(二)瀧り三第瀧階三(一)勝名近附湯酸
部一の泉温湯酸(四)嶽湯酸るた見り道田和十(三)
石號名の影手者行導寂内園公然天(五)



湯大關、碓



湯泉温湯温
舍客泉温
氏郎次政利毛



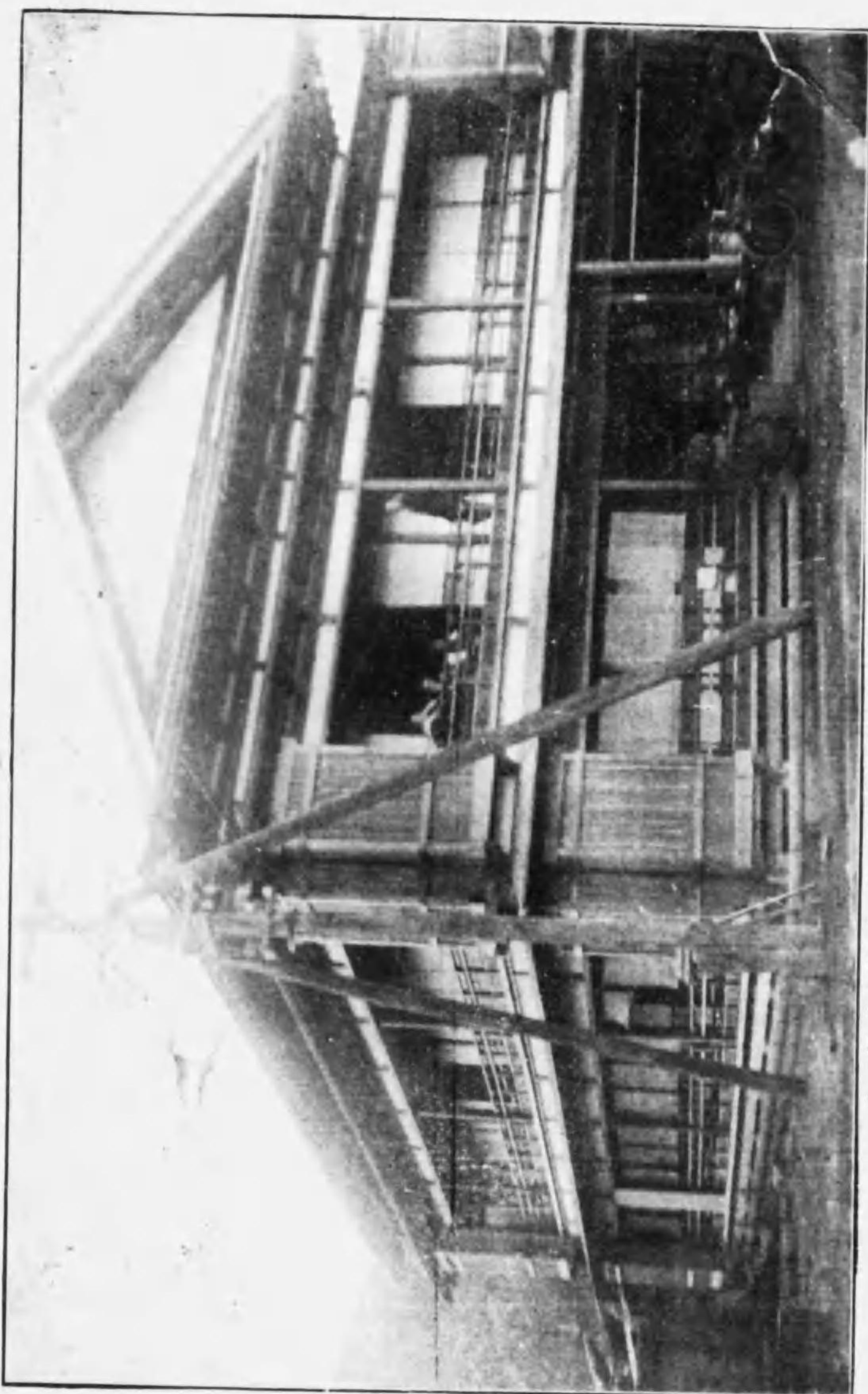
館旅田柴關、碓



泉温景日村立矢郡田秋北縣田秋

館旅田柴橋笠三關、碓

南津輕郡湯田温泉馬場毛利政次郎氏温泉客舎



北日本温泉案内

鑛泉療養法

温泉に浴して病体を療養せんことは遠き昔より始りしものならん神代既に大己貴尊は自分の温泉を以て少名彦命の病を治し賜へりて傳へり又欽明帝の御宇天皇親ら攝津國有馬温泉及び伊豫國道後温泉に御幸し御病を養ひ賜へしと云ひ後醫家によりて温泉を治病に應用せし後藤良山あり山村通庵は遍く諸國を巡遊して各温泉地の温泉効能を研究し其の他温泉究むるをものは皆温泉の治病に効あるを宣傳せりと見ゆ、鑛泉は地内に於て火山帶地下熱に暖められし一種の無菌水と見なすべきものが中に種々なる物質を含有し且つ其温度も高く之を内服し又は浴用するときは其の含有せらるる成分は人體の機能上に作用して諸般の疾病を治癒せしむる効あり抑も宇宙間に存在する水は一として酸素水素の二原子より成らざるはなし又純水と稱するものも必ず多少の含有物を夾雜するものにして凡そ水の性たる諸物と溶解し且つ瓦斯類を吸收する力に富み雨水蒸餾水と雖も亦た純なりと云ふを得ず若し水にして炭酸瓦斯を混有するか或は高度の熱を帯ぶるに於ては一層其溶解力を増加し如何なる巖石と雖も亦た純分離せしむる性あり況んや深く數種の地層をしゆん透して湧出する泉に於ておや故に鑛泉中に含有する諸物質は又よく尋常の飲用水にも之を含有するのみならずその量却て鑛泉より饒多なることあり斯の如き鑛泉は含有成分多きもの區別せんが爲めに單純泉と名けらるるも固形成分の含有量に従ひて鑛泉と飲用水を區別するは學術上能くなし得べき所に非らず温度によりて鑛泉と尋常水の區別を立てんとするも是亦難事に屬す鑛泉と雖も冷泉に屬するもの多し又熱泉に屬するものは多量の固形物若くは瓦斯を含有し多く高温を保持してゆう出するも尋常水にありては然からず常水は無臭無味無色なるも鑛泉にありては概して然からず加ふるに人體の疾病を治癒輕快せしむる特性を有す温度の高低によりて鑛泉を冷泉微温泉温泉熱泉と區別するは實際上頗る必要なり而して之が標準を定めんには其の所在地における空氣の中等温度を以て標準とすべし之より以上にあるものを温泉と稱し以下にあるものを冷泉と稱し又其超過多少によりて微温泥又は熱泥と稱するも可ならん凡そ患者にして入浴して病氣を養はんとするには先づ以て其の性質を擇ぶを肝要とし何れのおん泉がよく已れの病に効あるや又何れの季節において行ひて可なるやら判斷せざるからず温泉療養を行ふべき最良の時期は四月初旬より十月初旬に至る半々年を最良とし然かれども温暖なる地方にありては冬季と雖も入浴するを得べし但し此の際には浴室に最も注意し隙風の竄入せざる構造ならざるべからず又之れが療法の時季は常に病あひの爲めのみならず各個人々々の職業上の繁閑如何を圖り其の便宜なる時季を擇ぶも可ならん此の療法を以て眞に治病保健の目的に用ひんと欲せば其の浴場の完備せる限り春夏秋冬何れにても不可なれども此處には唯一般の通則として述べしのみ又療養の目的を以て之を利用せんせば必ずしも身自ら温みん場に赴くを要せずせん源より汲みとりて自宅に運搬し來り飲用又は浴用に供するも可なり唯だ此の

場合注意すべきことは、鑛泉を運搬する器物と鑛泉を貯ふる器物は其の含有成分及び瓦斯分を散逸せしめざるものなることを要す。鑛泉療法に要する時日の長短は病性體質及鑛泉感應の強弱に因り各々異同あれども通常三週日を以て療養期とす。素より其の病症によりてくわん急あるは勿論にして二倍三倍に達することあり但し其連續浴用して長日月に及ぶべからず若し久しく入浴せんとせば時々中止して再び始むるを可とす又或る種の疾患の如きは一時其の體質に變化起り然る後初めて効を奏することあり斯の如き場合には毎年同一の鑛泉に浴を取らしめ少くも兩三年間繼續するを要す。溫泉療法を行ふに當り最初或は其病勢の亢進するが如き影現あるも決して長く周章すべからず此の變状を呈するの後始めて本患の漸次輕快に赴くことあるは吾人の見聞せる處にて明かなり唯だその際暫らく鑛泉の服量及び入浴の度を減するか或は一時之を休止するを以て足れり又療養中一も認むべき効果なくして歸郷後初めて著しき効を收むることあり故に鑛泉の効か如何を見んとせば若干日月の後をまたざるべからず患者先づ溫泉場に到着せばその病症に從て食物を定め一兩日間靜養の後初めて入浴若くは飲用法を試むべし而して其鑛泉の自己の疾患に適するや否やを確知せんとせば必ず一定日間一所に留りみだりに移轉すべからず朝に甲泉に浴し夕に乙泉に轉じ恰も鑛泉巡廻をなす如きは終にその鑛泉の効か如何を認むるに暇あらず治病の目的を達し得ざる不幸あらん入湯客の警むべき要件なり鑛泉飲用料の多少は鑛泉の性質と病症體質に由て一定せず例令ばその病症に對する作用の強壯或は通利、利水等目的の異なるに從ひ其用法も亦自ら異なるを得ず乃ち含鐵泉は食鹽泉或はあるかりせん炭酸泉に比すれば大に飲用料を減せざるべからざる如し凡そ飲料は先づ少量より初め一回六十瓦一日二百乃至五百瓦より漸次増量して病者適宜の量に至るも一リットルを超えざるを可とす又之を飲食するには決して急速なるべからず毎さん宜しく凡そ三分時乃至四分時を隔て服用すべし而して飲用時は必ず朝食前七時或は八時午後は五時、六時の間を良好とす服用後はさう遙散策し若し晴天ならざるときは室内に於て適宜の運動を營むときは體中水分の流通を促し從て排泄せしむるものなれば身體中の汚物を洗滌掃除し兼て腸の運動を促し利下の作用を營むものなり朝食夕食は鑛泉いん用後卅分乃至一時間を経過したる後行ふべし入湯法は病症により多少の差異なきを得ざらも通常一日一回乃至三回を適度とし空腹時または飽食後直ちに入湯せざるにあり入湯中はよく漕内にて他人の妨害とならざる程度に輕易なる遊泳運動を試むるを良とす但しよく漕内は斷へず新鮮湯を輸送するの裝置なからず又一般換氣法に注意し空氣を清潔に保つを要す是れ皮膚よりして傳染病毒襲來を防ぐ唯一の法なればなり入湯の時間は其の性質とよく者病性體質等に由りて異同あるを免れざるも概して最初は入湯時間を短くし後漸く之を延長すべし乃ち十分時より始め漸々馴致するに從ひ五十分六十分に至ることあり單純せんは他の刺戟性鑛泉に比し久よく堪へ一般の通則として冷湯熱湯は十分を超へず溫泉微温泉は三十分を限度とす湯の温度も亦病勢體質等によりて同一ならず通例攝氏二十四度乃至三十七度を範圍となす吾が國にては從來の習慣上年齡の増し程高度の温を用ゆるも甚だ適當ならず攝氏四十度以上の温度は勉めて之をさげざるべからず唯だ特別の場合に於ては醫師の直督の下に之を命ずる事あるのみ鑛せん療法は小兒高齡者妊婦に於ては極めて精細注意するを要す鯨いん馬食及びぼう事は衛生の敵たるは言をまたざるなり

鑛泉の分類

單純鑛泉とは僅少の固形分及瓦斯分を含む物を云ひ單純炭酸泉又酸泉は少量の固形分及多量の炭酸を含み單純あるかり泉は多量のあるかりを含む又苦味泉は多量の硫酸マグネシヤ或は硫酸那篤倫を含む食鹽泉は多量の食鹽を含む土質泉又石灰泉は炭酸石灰或は硫酸石灰を含む鑛泉は鐵鹽類殊に炭酸鐵或は硫さん鐵を含む硫黃泉は硫黃化合物殊に硫化水素の化鑛を含む

各種鑛泉の特質と醫治効用

一、單純泉は其性質上殆んど尋常水と異ならず是れ固形分及び瓦斯に乏しきに由る主として温熱刺戟にあるを以て常水温浴と異ならざるが如きもその温度は殆んど一定不變にして且つ清潔なり即ち無菌性なり効用は慢性リ、麻質斯、痛病組織肥大、慢性肋膜炎、重病後のくわい復期、神經機能亢進諸症ヒステリ、腦脊髓中風脈病婦人生殖器の慢性諸症、内用としては胃腸病禁忌は腦中風脊髓ろう等なり

一、單純炭さん泉又さん泉は固形分に乏しく炭さんに富み之を振たうすれば氣球を生ず効用は尋常水一般の作用に兼ねて炭さんの特異作用を呈す故に本泉を胃中に攝取する時は人工曹達水或は沸騰散と同一作用を營む即ち胃粘膜に付する神經及び胃の筋肉を刺戟してちう動機を亢進して食物の輸送作用を旺盛ならしむ、外用せば皮膚を刺戟し新陳代謝血液循環重病のくわい復期、内服としては熱病者の止渴劑食傷上の惡心おう吐胃腸の運動を旺盛ならしむ

一、單純亞爾加里泉は炭さん亞爾加里殊に多量の重たんさん曹達、遊離たんさんを含有し多くは無臭無色の冷泉にして其味は含有物の多少に從ひて別あり即ちたんさんは刺戟性、曹達はかん味、食鹽はえん味、茫は苦味なり其の治療上に効あるは重曹食えん茫等なり故に通常本泉を亞爾加里性さん泉(多量の重たんさん曹達をかん有す)亞爾加里性食えん泉(重たんさん曹達と食えんをふくむ)亞爾加里性茫せう泉(重たんさん曹達と多量の茫せうをふくむ)の三種に區別す、亞爾加里性さん泉(或は亞爾加里泉)は胃腸病(胃さん減少せるものは内用せざるを要す)慢性氣管枝加答兒、慢性肺炎肋膜炎及腹膜さん出物、婦人生殖器病尿道膀胱痛風肥はん症等に効あり又亞爾加里性食えん泉の効能は前記に同じなれども外に肺結核初期の消化不良、輕度腹部内臓の滯血等に効あり、亞爾効里せい茫せう泉消化器病中特に腸疾患に効あるを以て内用すべきなりその他脂肪過多症動硬變等に効あり

一、苦味泉又苦せんは甚だ不快なる苦味を有すその多くは低温にして無色透明なれども亦屢々帶黄色なるものあり効能は強壯家の便秘頭部及び肺の充血脂肪過多下腹肝臟肥大及び内臟滯血にかうある禁忌は衰弱及諸種の貧血者及胃腸の知覺銳敏なるもの

一、食えんせんのかう能は皮膚病、胃病肝臟諸病脾腫痛多血症肥はん症肋膜炎さん出物氣管枝加答兒咽喉加答兒諸種の婦人病濕疹發疹病のくわい復期等にかうあり

一、土類せんは膀胱加答兒腎臟病慢せい皮膚の發疹化膿せい潰ちやう梅毒並に水銀中毒等にかうあり

一、鐵せんは其固形分の含量に從ひアリ加里せい鐵せん(重たんさん那篤リク)茫せうせい鐵せん(硫さん那度リクム)等の名あり又固形分少量にして二百分一乃至十分一の鐵をかん有するものを純鐵せんと云ふ普通の分類に從へばたんさん鐵せん及硫さんてつせんなり之を服用せば體重尿素、排せつ量及び脈ばくを増加し食慾を亢進す外用神經痛男女の生殖器諸病常習せい流產局所に關する不妊症貧血萎

黄等禁忌は諸般の熱せい病肝腎及肺結核のかく血を伴ふ者多血せいもの消化器不健全のものりうさんてつせんは浴用として收剣せい強きを以て婦人生殖器病に特かうあり

一、の黄せんは無色透明のものなるも空氣の竄入又は他の含有物によりて濁たく又はえん味を有し不快臭を放つを常とす効用は慢せい筋及關節リュ麻質私及痛風慢せい皮膚病に効あり而しての黄せんは潛伏せる梅毒を發現せしめて沃度劑若しくは水銀を用ひて之を驅除するに適せしむべし蓋し黄せんに浴すれば忽ちばら疹等を發するを常とす内服せば下腹充血全身多血肝臟肥大鉛水銀のまんせい中毒氣管枝咽こうかたる婦人病一般ませい關節炎骨の疾患創傷炎の遺殘等に効あり

東北本線 浅虫驛

浅虫旅館料理店組合

秋田縣鹿角郡大湯村長	谷地政民
秋田縣鹿角郡大湯	千葉旅館
上の湯	十和田湖御案内
ラズオ、チニスコート	電話 八番
秋田縣鹿角郡大湯	大湯ホテル

秋田縣鹿角大湯

高島旅館

電話 十九番

南郡大鰐町長

山口武雄

電話 九番

奥羽線大鰐驛

内湯大鰐ホテル

電話 十六番

青森縣大鰐町

熱内湯客舎 水木又市

電話 一一三番

大鰐温泉

青森縣 南津輕郡 大鰐町

奥羽線大鰐驛下車、温泉部落三百七十市街地をなして居る、旅館客舎等二十餘軒、四季入浴者が絶えず殊に農閑期の一月二月三月は毎年入浴者雜沓して客舎満員の盛況なり又旅館の取扱、設備、浴場等完備して至らざるなく加ふるに汽車、自動車、馬車、人力車の交通至便なるを以て逐年保養遊覽等の來客夥し大鰐スキー場は東北豫選大會や全日本選手權大會等の催しがあつて以來其の名を全國に擴めたスキー場は近くの阿闍羅山の中腹より狐森まで周圍五六里にして十五度から五十度以上の傾斜地に富んだスロープである雪は五六尺より一丈位の深さに達す同大會の際は鐵道に於て臨時列車を運轉し頗る賑かである重要物産は苹果、材木、石材、薬工品、豆もやし、本地挽細工、木通蔓等にして振つた意匠のものが店頭陳列されて居る林檎は青森縣第一等の優良品が大鰐産なりとの定評あり天恵の麗質を悉く備へて居るからつとに聲價を博して居る、尙共同湯は青柳湯、河原湯(又は唐子湯)と稱し無色清澄異臭なく微かに鹹味を有し弱アルカリ性反應を呈す即ち左の如し

泉質	石膏含有弱食鹽泉	比重(十五度)	一、〇〇一六
溫度	七二、〇度(攝氏)	放射能	二、八〇
固形物總量	(水一キログラム中のグラム)		二、三五五九

内用 慢性消化器病(弛緩症食物停滯、弛緩性便秘)慢性咽喉頭及氣管支加答兒新陳代謝病及全身病(糖尿病肥はん病、痛風、貧血腺病)

禁忌 興奮性神經病、胃酸過多症、消化器癒れん症、結核、腎臟炎

外用 外傷性諸障害、慢性筋及關節リューマテス、慢性濕疹、官能性神經病(ヒステリー)及神經衰弱(輕度の脊隨病、中樞および末梢性痲痺(經久性半身不隨小兒痲痺)婦人生殖器の慢性諸病、攝こせん炎、諸病くわい復期、せん病質)

鹽類表

クロールカリウム	〇、一九〇二	重碳酸亞酸化鐵	〇、〇〇五七
クロールナトリウム	一、二三四五	硫酸マグネシウム	〇、一一二二
重碳酸マグネシウム	〇、〇八六五	硫酸アルミニウム	〇、〇九四一
遊離炭酸	〇、〇二〇三		

一若松湯(共同)二梅ヶ香湯(共同)三山吹湯(共同)四大鰐ホテル(内湯)五二川原客舎(内湯)六後藤旅館(内湯)七澤田客舎等何れも効能は前記青柳湯に同じ

青森市旭町遊廊

長谷川樓

電話三二四番

奥羽線大鰐温泉
熱内湯客舎

瀧の湯 長利慶次郎

電話七五番

奥羽線大鰐温泉場

鐵道指
定旅館

内湯 一二三三館

電話二三番

青森縣大鰐温泉場

旅館

加賀助

電話四番

青森縣大鰐温泉場

一の湯

温泉客舎三階有

太田 三田

湯量豐富一分四斗余湧出

御料理

大鰐町

岩木屋

電話三十三番
支店

御料理

大鰐町

喜良久

電話八番
支店

蔵館温泉

青森縣南津輕郡蔵館村

奥羽線大鰐驛下車東南五丁にして平賀川の清流を擁し大鰐町と並ぶ自動車二十錢、馬車十錢、名所としては大日堂、名木萩桂等あり、名木萩桂は普通の桂と違ひ對葉にして恰も萩の如く枝亦垂下し小果實の相を爲すも亦萩と似て居る根より二三尺の太さ周囲二丈九尺二幹に分れ高さ十數間の大木にして四月中旬花を開く傳説に依れば建久年間唐の僧圓智上人如來を阿闍羅山より神岡に奉移し神岡に高伯寺を創建するに際し天竺の鷲峰山より桂樹を移し奉りて山門の邊に植えしものと云ふ、名木萩桂もちは虎屋萩桂堂主人唯吉氏多年研究の結果成りし物にて風味甚だ賞すべし土産用お茶受等遠近より注文ありと云ふ附近には唐牛の城趾駒木平の山櫻等世に知らる同温泉場は一見市街地にして旅館、客舎商店軒を並べ精氣あふれて居る共同浴場二箇所外内湯もあり旅館、客舎十數軒等がある同村藤田綱吉氏温泉内湯の最近調査せるもの左の如し

性狀無色透明異臭なく微鹹味を有し弱アルカリ性反應を呈す泉質石膏含有弱食鹽泉

鹽類表

クロールリウム	〇、〇八二三	硫酸ナトリウム	〇、一一九八
クロールナトリウム	三三八〇	硫酸カルシウム	〇、六〇六七
重炭酸マグネシウム	〇、〇一九〇	せう酸(メタ)	〇、一一八三
硫酸アルミニウム	〇、〇一〇七	遊離酸	〇、〇八二三
其他ヒトロ磷酸ほうさん各イオンの痕跡あり			

醫治效能

慢性リウマチ、諸種麻痺(經久性半身不隨小兒麻痺類)痛風慢性、生殖器及びひつ尿器諸病(慢性子宮周圍炎子宮筋炎等)貧血萎黃病、せん病質虛弱小兒、軽度の血管硬化症、皮膚病諸病(わい復期(ラジウムを含む))
尚入湯時間及回数は一四回一回十五分以内、内用は胃腸諸病呼吸器病(肺炎肋膜炎を含む)に良く吞料は一日一升より三升以内とす

祝 發 刊
青 森 縣 南 津 輕 郡 藏 館 村 長
水 木 吉 右 衛 門

南郡藏館温泉場
温泉客舎
倉 橋 くに
大湯浴場と接続す

青森縣南郡藏館温泉場
温泉客舎
不二や
熱内湯 藤 田 綱 吉
大鰐驛より歩行十分にて達す

青森縣南郡藏館温泉場
温泉旅館設備完全
内湯 仙遊館
菊地 權三 貝
電話 一四番 二番

青森縣南郡藏館温泉場
温泉客舎
石塚嘉右衛門
大湯浴場直ぐ向ひ

青森縣南郡藏館温泉場
内湯 公遊館
電話 七五番

陸奥藏館温泉
萩桂堂 虎屋 唯吉
電話 一九番

青森市吉原遊廓
角海老樓

■ 碓ヶ關温泉

青森縣南津輕郡碓ヶ關村
奥羽線碓ヶ關驛下車、驛より温泉まで五丁自動車馬車の便あり津輕の西南隅平賀川の上流にありて土地高燥、空氣清く飲料水亦良く三面丘陵波の如く起伏し盆様の土地なり平賀川の清流は一條布をさらしたるが如く南より北に温泉地の中央を走る春は山櫻夏は河鹿の銀鈴の如き聲、秋は紅葉等人工を加工したる處更になく天然自然の美を以て固まる安樂郷である戸數五百五十、旅館客舎十數戸、共同浴湯二ヶ所あり東方に三笠公園あり眺望極めて佳絶、驛より十五丁にして古懸山不動院國上寺あり禮拜する人多し古懸附近に古めかしき古器物掘出され千古の珍物尠ならず三笠山より半里にして糸瀧と稱する長十五間巾二間の瀑布ありて真に清冷の趣きあり

無色清澄異臭異味なし弱あるかり性の反應あり
■ 碓ヶ關温泉 熱の湯 (共同湯)

泉質 弱食鹽泉 温度 六〇、〇度(攝氏) 放射能 一、四〇 比重 一、〇〇一〇四 固形物總量(水一キログラム中のグラム) 一、二六〇三

■ 鹽類表
本礦水は其集成、於て一キログラム中次の成分を含有する溶液にして概略左の如し
クローネカリウム 〇、一七一九 硫酸カルチウム 〇、〇六七六 クローネカルチウム 〇、〇九六二
重炭酸マグネシウム 〇、〇〇一二 重炭酸カルチウム 〇、〇八一〇 〇、一〇四四
クローネナトリウム 〇、七六二四 遊離炭酸 〇、〇〇三九

■ 右醫治効用
内用 慢性消化器病、弛緩症、食物停滯、弛緩性便秘、慢性喉頭及氣管支加答兒、新陳代謝病及全身病(糖尿病肥はん痛病貧血) 禁忌 興奮性神経病、胃酸過多症、消食器痙れん症、結核、腎臟炎
浴用 外傷性諸障害、慢性筋及關節、りう麻痺、慢性濕疹、官能性神経病(ヒステリー)及神經衰弱(輕度の脊髓病、中樞及末梢性麻痺(經久性半身不隨、小兒麻痺)婦人生殖器慢性諸病、慢性攝護腺炎、諸病くわい復期、腺病質)

■ 碓ヶ關温泉 冷の湯 (共同湯)
本礦水は其集成において一キログラム中の成分及醫治効用は前記熱の場と同じ但し量は多少相異す

◆ 柴田旅館 柴田旅館は三等橋を渡り右側の廣壯なる建物にして前面には平賀川の清流走り或は碧たんに藍をよどませ或は急瀬となりて澗石に砕け滔々たる響は熱汗ほどばする夏季と雖も一度此處に至れば神氣爽快を覺ゆ浴後階上一室の欄干に凭れて眺むれば連山巖然重複走るが如く伏するが如し旅館の設備構造取扱等全く理想的にして尙内湯は甚だ清淨且つ諸病に効能著しく浴客絶ゆることなし

祝發刊

南津輕郡碓ヶ關村長

野呂雄之助

奧羽線碓ヶ關溫泉

三笠館

杉山田客舍

和御料理

田代ひさ

南津輕郡碓ヶ關溫泉

吳服雜貨商

櫻庭新助

南津輕郡碓ヶ關溫泉

營業種目

各種木材製材販賣、樽丸製函釀造用器
建築建具材料一式、薪材木炭天然製氷

秋津産業會社

南津輕郡碓ヶ關驛前

青森縣南津輕郡碓ヶ關村
奧羽線碓ヶ關驛下車

交通至便

溫泉旅館

風光絕佳

鐵道指定

柴田旅館

避暑地

浴槽淨
內湯貸間完備

■温湯温泉

青森縣南津輕郡山形村大字温湯

奥羽線川部驛にて乗換へ黒石驛に下車、三等十錢、黒石より温湯まで二里、自動車五十錢馬車四十錢夏は割引す、同温泉は淺瀬石川の溪流に沿ふを以て夏季の清涼殊更によく名所中野紅葉まで約五丁なり、温湯村鶴泉之由来を記するに陸奥國南郡山形村温湯の温泉は其昔一羽の鶴の脛折れて此邊にありしが後元の如く癒えて飛び去りしを神岩沖と云ふ人は是を怪しみ蘆を探りて發見せられしかば鶴泉と名づけたる由其後天正九年夏陸奥浪岡城主中納言源唯秋の臣に工藤次郎左衛門なるもの此の湯の癒れたるを患ひ蘆を結びて風雨の凌ぎをなせしより浴者漸く殖ゆるに至りき寛永元年甲子八月華山院少將藤原忠長郷故ありて陸奥に下り偶々此の温泉に浴せられて其の効驗を賞せられ浴後身体に永く温氣を保つの故を以て温の文字をとりて温湯なる名稱を賜はりぬ是れより温湯の名世人の知る所となり明治十八年内務省本泉を分折及醫治効用書を附與せられしより今は東北有名とはなりぬ

■温湯鑛泉

此鑛水は一立方センチメートル中固形分二、〇八六〇〇瓦(攝氏百八十度にて乾燥したるもの)を含有す其成分左の如し

酸化那篤^リウム 一、三三七八〇瓦 炭酸カルシウム 〇、一〇八四〇瓦 硫酸ナトリウム 〇、三二五四

硫酸カリウム 〇、〇四六八四瓦 硫酸カルシウム 〇、〇八三〇九瓦

重炭酸カルシウムとなりて鑛水中に溶在するものにして改算すれば即ち其量〇、一五六〇八瓦なり

■醫治効用

脂肪過多症、慢性便秘、肝臟肥大腺病、充血および痔疾、腸の慢性加答兒、慢性胃加答兒、脾腫、慢性氣管支および咽喉および喉頭加答兒、肋膜炎出物、子宮諸病、水腫線の慢性炎骨諸病、慢性皮膚諸病に適應す

新築披露

青森縣南津輕郡温湯温泉場

温泉客舎

毛利政次郎

特長眺望絶佳、客室清潔、設備完全、家族的取扱
客舎内に賣店あり、階上階下十六室、團體
收容に最も可、貸間料は他の客舎と變らず
並等、中等、上等の區別有り

醬油味噌糍製造業

温泉客舎

飯塚重吉

青森縣南津輕郡
山形村温泉場

青森縣温泉湯温泉場

温泉旅館 古澤旅館

南津輕郡温泉湯温泉場

和洋 瀧見館

和洋一品料理 鶴泉亭

親子井鳥料理 石村食堂

名物鳥味噌製造

南津輕郡温泉湯温泉場

青森縣温泉湯温泉場

温泉客舎 盛万

青森縣温泉湯温泉場

吳服太物 洋酒罐詰 小問物雜貨 温泉客舎 生田商店

電話イタ(又ハ)イクタ

下風呂温泉

青森縣下北郡風間浦村大字下風呂

東北本線野邊地驛乗換へ大湊線田名部驛下車、田名部より下風呂迄七里二十九丁、自動車二圓九十錢、海濱なるを以て磯打つ波を枕にいうく保養の出来る處にして湯は鹽類性硫酸泉にて糠麻質斯、婦人生殖器病、淋病消渴、呼吸器、るわれき、皮膚病、切傷骨折に大効あり浴場共同湯二箇所あり元湯は最近建設したるものにして最新式模範浴場なり戸數百余戸、旅館客舎十余戸あり

青森縣下北郡下風呂

温泉客舎 新田旅館

元湯の隣地にして輕便食
堂有り万事親切大勉強を
主義とす總二階眺望よし

下風呂温泉

角長 長谷旅館

下風呂温泉

丸本 長谷旅館

下北郡大畑村

下北木材

株式會社

下北郡大畑村

井上旅館

薬研温泉

青森縣下北郡大畑村大字薬研

東北本線野邊地乗換へ大湊線田名部より大畑まで三里、自動車一圓四十錢、大畑より西方平垣地二里半にして温泉地に至る温泉は大畑川の溪流に添ふて湧出し浴場二箇所あり旅館二軒あるのみなれども風景極めてよし春は近効の櫻、夏は大畑川の川狩、秋は万山の紅葉及推查狩、冬は狩獵スキー等にして山水秀でたる點は縣下にも珍らしき土地なり湯は無色透明無臭味なり弱あるかり性反應を呈す湯量は非常に豊富にして河の流る、が如し婦人病、外傷性諸障害、慢性筋及關節りうまら、慢性濕疹、便秘脂肪過多症、眼疾、腺病、慢性攝腺炎、官能性神經病、ヒスタリ及神經衰弱、輕度脊隨病の中樞及末梢性痲痺、小兒痲痺等によし

下北郡大畑村薬研温泉

温泉旅館 古畑旅館

青森市濱町

料理屋組合

青森市濱町

藝妓見番

浅虫温泉場

藝妓見番

電話五六六番

電話三十二番

■ 恐山温泉、恐山ホテル

十六

青森縣下北郡恐山釜臥山菩提寺境域八十町步地内

東北本線野邊地驛乗換、大湊線田名部驛下車、田名部より恐山まで三里二十町、自動車は恐山まで直通二圓三十錢、靈場地恐山に登山するには田名部口、大湊口、大畑口、川内口等あれども田名部口は道路最もよろしく下だ穿きにて容易に登山するを得、先づ田名部驛に下車して同町に至れば恐山案内所、自動車發着所たる恐山ホテル支店に至るべし此の旅館にては登山客に對して万事便利を與ふるを以て此處にて身仕度をして自動車又は徒歩をせんとする団体等には特に割引を以て歓迎す登山道は一步一步毎に目ら塵垢を離る 思ひあつて檜山の密林を左右にして行くのである途中大ぶな、一本杉(大杉)矢立冷水を通る冷水は休息場なり炎熱の夏と雖も氷の如き冷水水を呑むときは夏尙寒さを覺ゆるの感あり稍進み頂上近くに達すれば尻矢燈台、北海道の山々は服下に展開す更に密林の諸鳥の聲を樂しみつ、進めば樹間に周圍三里ある碧色の湖水をがんだする快形容するに言が無い程である此湖水を宇曾利湖と稱しその流れ出づる口を三途川と云ひ今は田名部水力電氣會社發電所の水門を造つてあれども三途川の橋は孤形状にて今尙存してゐる恐山境域内には本堂地藏堂の外阿彌だ堂(釜臥山菩提寺)藥師堂、無縁堂、稻荷堂、賽の河原、地藏堂、林崎嶽大明神堂、不動明王堂、慈覺大師堂、同供養塔納骨塔などの巡禮所あり四邊に石楠花姫薔毛藍苔木葉石舍利石經文石硫黄ひ石朱土などの奇石珍花あり境域内宇曾利湖畔には恐山ホテルがある二層樓にして室内の通氣眺望採光等は一度この地に遊ぶもの永久忘れ難き感を抱かしむ尙顧客の待遇は専ら懇篤と誠實を旨としうく自適心を樂しましめ樂園にあるの感あり炎暑の時と雖も鮮魚鮮肉を欠かさず敏腕の料理人によりて食膳を賑かにすホテル直屬のモーターボートは數隻ありて湖畔棧橋より乗船して湖内一周するを得この靈山には佛法僧と鳴く禽鳥あり卯月の佛誕日より毎年鳴くを例とす例祭は毎年新曆七月十八日から二十四日迄一週間なり毎年數千の參詣あり境内菩提寺温泉客舎恐山ホテル等千人を收容するを得大正十一年九月二十三日第一艦隊八千五百名登山、大正九年九月三十日聯合艦隊八千名登山、大正十年十月二十日第三艦隊第五戰隊第七戰隊第六驅逐隊第三十一驅逐隊第二十三驅逐隊第二十四驅逐隊五千名登山せり毎年北海道樺太各縣より參詣するも夥し大正十一年九月十六日文士故大町桂月翁登山の際左の歌、俳句を角柱に認めたり

恐山心と見ゆる湖を圍める峰も蓮花なりけり
 秋晴や三千世界足のもと 大正十一年九月十八日作
 恐山境内に湧出する湯は硫黄泉で古瀧の湯(温度百六十一度)冷の湯(温度百七十六度)藥師の湯(温度百四十七度)花染の湯(温度百六十五度)新瀧の湯(温度百八十六度)等で就中花染の湯は朱砂泉で實に天下無さうの名湯なり湯治するもの万患快癒すること佛智によりて煩惱を去るが如し醫治効用は慢性りうまます慢性皮膚諸病、下腹充血全身充血、肝臟肥大、鉛水銀の中毒に内服すべし咽喉かたる氣管支かたるに吸入して効あり子宮及卵巢の慢性炎、月經不調、慢性關節炎、骨の疾患、創傷炎、痲痺梅毒消渴等によし

慈覺圓仁大師開創の靈蹟

青森縣下北郡恐山

寺務所

青森縣下北郡恐山境内

宇曾利湖畔

内湯 恐山ホテル

全田名部支店

恐山登山客案内

自動車發着所

電話 九番

例祭陽曆七月十八日より二十四日迄
 田名部町より自動車直通
 温泉五ヶ所 浴場完備
 毎年四月より參拜者不堪
 宇曾利湖附近の景絶勝也

本館總二階店支三階、親切丁寧に万事便宜に御取可申候
 宇曾利湖一周のモーターボート數隻設備

酸湯温泉

所在地 青森縣東郡八甲田山中酸湯温泉
 下車驛 東北線青森驛、浦町驛、浪打驛

青森市より南方横内村を経て縣道七里、東北帝國大學理學部附屬高山植物研究所は酸湯公園の一部たる地獄湯(沼の如き大池の湯)やち湯、井戸湯(沸騰したるゆは河をなし)等を包含せる地域に建設すること、なり昭和二年八月より着手の筈

●**順路** 青森市堤橋より堤川に沼ひ上流に向つて進み奥野、濱田の兩村を過ぎ道路の兩側に併立する松並木を數町進めば妙見神社追分石を左折して妙見橋を越え水田の中の道を通りて横内村に至る此間凡そ一里半、横内村より又南方に行すること一里にして雲谷村に至るこの村は酸湯縣道中終の部落なり是より雲谷峠の西側を半廻すれば菅原と稱する放牧地に出づその南盡端に酸湯温泉客の爲めに設けられたる休けい所あり 清水岩間より湧出し人馬の食料品をも供給し横内村酸湯間の中央なり更に南方に進めば山毛榉林に入り見返り台、田茂やち澤、寒水澤、南澤、硫黄製れん場跡、鳥瀧澤、冬菜澤等を経て八甲田山腹海拔三千尺高燥地靈泉酸湯に達す

●**交通機關** 青森市より横内村迄は定期乗合自動車及馬車あり賃金各一人に付金五十錢、横内村酸湯間は徒走又は馬或は人足、冬はスキーを利用すだ馬賃三圓、荷物運搬一貫目二十錢

●**旅館** 酸湯温泉専屬の旅館は横内村に三軒あり多數の旅客を收容するを得万事親切懇篤を旨とし室内清潔なり一泊二飯握飯付金一圓五十錢

●**酸湯名勝** 酸湯は日本國中高山植物を以て有名なる八甲田山八峰及檜ヶ峰、駒ヶ嶽等連峰の登山口にして附近には酸湯天然公園、新ゆ、井戸ゆ、せうが倉溪、石倉の巖壁等の遊覽地あり十和田道の中間に位し加ふるに東北大學の高山植物研究所設置せられべく夏季は研究家探勝客等の訪づるもの夥しく秋は万山紅葉を以て晩秋の名勝を飾る又此處より新道四里にして萬温泉を經更に四里半にして十和田湖に至る新ゆ温泉迄十丁下ゆ及谷地温泉迄二里余田代元ゆ及同新ゆ迄三里余猿倉温泉迄二里弱十和田湖畔まで直通五里の道路あれども案内者を要す藥師堂及三十三觀音堂附近に有りて詣づるもの數多し酸湯より硫黄採取場を東に半里登れば酸ゆ嶽に至る海拔五千三百尺にして八甲田群峰中の最高峰なり山頂より四方を眺むれば大平洋、日本海、青森灣等眼下に見え雄大の氣宇胸に溢る

●**酸湯の特徴** 酸湯温泉は古來三日一廻りのにして中間九日往復の日半日つ、を加へて都合十日間を以て一湯治期となし他の温泉の半數に達せぬ日數を以て能く諸病を治するの奇効顯著なるに加へ湯治後の休養を要せず北海道樺太島の來客最多、清潔なる浴槽四個泉質各々差異あり湯濃數條(高さ一丈余)泉量何れも豊富にして河の流るるが如くなるを以て浴槽の清潔なること他に比なし尙夏季 雖も蚊居らぬ故蚊帳の治療なし

●**湯治費用** 自炊、旅館さう方を歓迎し旅館客舎等の設備万端整備し賣店を設けて副食物日用品の需要に應じ敏腕の料理人によりて卵肉魚菜の一品料理の仕出及名産兎肉は廉價を以て味ふて得客室十疊以上七十餘あり

●**旅籠料** 三飯付並二圓、中二圓五十錢、上三圓五十錢外に湯治中湯錢全額一圓
 ●**間貸し** 一人一日分宿料金四十五錢より金一圓迄夜具料一組十五錢より三十五錢迄御飯代三飯に付金三十五錢但し副食物は自辨のこと米持參の人は一日に付炊料十錢薪代五錢外に湯治中湯錢全額一圓なり點燈料及炊具食器一切無料貸付す
 ●**賣店** 内には日用品雜貨食糧品和洋酒類罐詰湯治土産其他一品料理の仕出をせしむ

成分表及醫治効用

●**熱の湯** 無色透明硫化水素臭あり味は鹹酸にして收けん性を帯び反應弱酸性なり泉質酸性泉、溫度五〇、〇度(攝氏)

クロールカリウム	〇、〇一七九	硫酸	〇、〇二二七
クロールアンモニウム	〇、〇〇二四	硫酸亞酸化鐵	〇、〇〇九七
クロールナトリウム	〇、二二九七	磷酸アルミニウム	〇、〇〇一五
クロールカルシウム	〇、〇四一五	硫酸マグネシウム	〇、二九三六
クロールカリウム	〇、〇一四三	クロールナトリウム	〇、〇五九四
クロールカルシウム	〇、一五五二	硫酸カルシウム	〇、一四三二
硫酸マグネシウム	〇、三〇五五	硫酸亞酸化鐵	〇、一三〇〇
りうさんアルミニウム	〇、〇一三九	磷酸アルミニウム	〇、〇二〇

●**醫治効用** 浴用熱の湯に同じ、酸湯開場即ち貞享年間より今日に至る約三百年に亘り實地に湯治したる主なる効顯は頭痛、リョーマチヌ、神經痛、婦人病(子宮諸病)脚氣胃腸病痔疾、ひせん痒疹一般皮膚病痲痺骨及關節の諸病、消渴打身切傷せん氣等に特効あり

●**新湯** 無色透明異臭味なく弱あるかり性反應を徴す泉質石膏性苦泉溫度六〇、〇度
 ●**クロールカリウム** 〇、〇二〇八
 ●**クロールナトリウム** 〇、三九一九
 ●**クロールカルシウム** 〇、〇〇二〇
 ●**りうさんカルシウム** 〇、五六七三
 ●**りうさんマグネシウム** 〇、二一二七
 ●**重炭さんマグネシウム** 〇、〇〇一一
 ●**りうさんアルミニウム** 〇、〇〇一八
 ●**重炭さん亞さん化鐵** 〇、〇二六七
 ●**りうさんアルミニウム** 〇、〇六四四
 ●**りうさんアルミニウム** 〇、〇〇一八

●**醫治効用** 内用肥はん病 常習便秘(消化器弛緩症)月經閉止期障害、輕度血管硬化症 浴用 慢性りう麻質斯 神經痛官能性神經疾患 皮膚病殊に乾性掻痒症

●**自宅湯治用ゆ花** 青森市榮町四十番地白戸友雄氏(酸湯温泉白雲館主)の發賣に係る湯花は三日一廻りの鹿湯温泉より採收せるものにして諸病に偉効あること既に定評あり室内温泉即ち各家庭において薬湯を作り輕便に湯治するものなり料金一週分七十錢外送料を要す

祝 發 刊
青 森 縣 東 津 輕 郡 橫 內 村 長
高 坂 晴 男

青森縣東津輕郡橫内村
酸ヶ湯温泉專屬旅館人馬繼立所

清潔第一 **サ 鳴海旅館**
親切丁寧家族的に御取扱申候

青森縣東津輕郡橫内村
酸ヶ湯温泉專屬旅館

清潔第一 **伊香旅館**
懇篤誠實を旨とし丁寧な御取扱申候

青森縣東津輕郡橫内村
酸ヶ湯温泉專屬旅館

清潔第一 **余山上旅館**
總て優遇主義を以て親切に御取扱申候

秋湯の澤鑛泉

青森縣南郡碓ヶ關村地内湯ノ澤

◆所在地 碓ヶ關驛から一里半位而かも其大半は國道で車馬の便があります
◆由來 當鑛泉の草創は随分古く恐らく二百余年前でもあらうか舊藩時代は累代秋元家の祖先が經營してゐたもので當時は三日一週で而かも効驗が著しい所から遠くは北海道邊からまでも各地の浴客が入込んで余程繁榮したやうに言ひ傳へられてゐます維新後は荒廢のまゝに委棄してたのですが當主松太郎氏がかつては祖先へ對しても相濟まぬことでもあり又人助けの主旨にも反するご人々の勸めを幸ひ再興經營することになつたのは一昨年のもので完全してはゐませんが入浴在泊には何等の不都合なく物資の供給も近く碓ヶ關を控へてゐますので少しの不便も感じません元より秋元氏は營利本位のことではありませんが宿料や間貸も出来るだけ勉強して一人でも多くの方々を一日も早く病苦からのがれさして上げたいと言ふのは温泉經營の本旨なのであります
◆浴効一般 一昨年来の實例によりますと脚氣、りう麻質斯、神經痛、腦病、中氣、肋膜咳嗽、心臟病、胃腸病、腹痛、盲腸炎、痔、せん氣、淋病消渴、子宮病、梅毒、眼疾、脊すゐ、膀胱加多答、骨膜、水虫、トラホー、寢小便、打傷、ガツチャキ、腫物、乳の出ぬ人其の他子實のない人などすべての病氣に特效神の如き靈妙不可思議な鑛泉であります殊に十數年來の痼疾も浴治も利目がなかつたといふのが二、三日内外で忘れる様に全治したといふ例が澤山あります單に聞いただけでは本當とは受取れぬ様ですが本當とはせず試みに入浴した方が其事實なのに驚くと言ふのが實際であります病のあられる方殊に永年の長わづらいて自分でももう諦めて居られる様な方一日も早く橋からぬけられたしです
◆全快實例 弘前市古堀新割町伊藤久之助(七〇才)南郡石川町字藥師堂花田じゆん(五〇才)東郡油川町櫻谷いつ(六〇才)は風眼其他の眼疾で失明後十八年乃至二十六年なのだが入浴全治回明▲南郡五郷村字中野常田専次郎(二二才)中郡和徳村字堅田福十典次郎(四三才)は神經痛で前後不覺であつたのが入浴全治▲中郡和徳村字撫牛子丸山みき(二八才)は子宮病で十三年も苦み醫者も見放したのだが二十日で全快▲弘前市和徳町板垣金助は中風で四年も苦しんだのが入浴十五日で全快現に勞働に従事▲同市のこうじ町柁木敏徳はこう丸炎で三年も病み函館病院で手術をうけてもなほならなかつたのが十一日で全治▲東郡蓬田村越田兼太郎は痔疾で十四年間苦んだのが十八日で全快目下勞役中▲南郡大鷲町字三ッ目内外崎とよ(二〇才)は脚氣で二年も腰が立たなかつたのが十五日で健康体に復し家事に従事中▲碓ヶ關村工藤じゆん(五二才)は腎臟病で四箇月も血尿出で醫藥も効なかつたが四日で血止まり十日で全快▲東郡奥内村木村三吉長女(十才)はハッチを五年もわづらつたのが十三日で全快目下通學中▲南郡藏館村山田みねは肋膜炎で永年苦み寝返りも出来ぬほどであつたのが十五日間て全快歸村▲東京麴町區飯田鈴木子之吉(三六才)は盲腸炎で三箇月も病み大學病院でもなほならなかつたのが七日間て全快▲南郡淺瀬石村字中川三上佐太郎(五二才)は心臟病で三年も患ひ四方の醫者に診て貰つてもなほならなかつたのが十三日で全快▲青

森市榮町須藤豊太郎(三五才)は神経痛を病むこと十七年不治の病としてあきらめ居りしものが二日で効あらわれ二十日て全癒▲青森市野呂とぎ(二十才)はリーマチ膝から曲つて動かすことが出来なかつたのが全快他▲奉公中▲北海道後志岡岩内郡岩内町蓮華寺寄留人恵比須江マヌ子は卵巣擴大し三十四年間の痼疾なりしも十五日間にして全癒▲東郡平館村大字船岡工藤豊作(二六才)は四年間脊髄にて當温泉にて十五間にて全癒

■ 試験成績書

依頼人 南郡碓筋關村大字碓筋關百二十三番地 秋元 福松

一、試験品 礦泉

本品は殆ど無色透明の液にして硫化水素臭及び鹹味を有し反應弱酸性を呈し煮沸すれば弱あるかり性に變ず

■ 鹽類 泉

クロールナトリウム	五、三〇七四	クロールカリウム	〇、七六三九
水酸化ナトリウム	〇、〇四四一	クロールカルチウム	一、一四八一
重炭酸マグネシウム	〇、四八四八	クロールアルミニウム	〇、〇〇二五
メタ硫酸	〇、一三七五	メタ硼酸	〇、〇四二六
遊離炭酸	〇、四八八六	遊離硫化水素	〇、一五〇〇

■ 醫治効用

慢性皮膚病(慢性掻痒性)慢性りう麻質斯、痛風、腺病、慢性婦人生殖器病、月經閉止期障害、諸種ノ痲痺、慢性鼻咽喉及氣管支加答兒(喘息及肺氣腫に繼發せるもの)經久梅毒、鉛及水銀中毒症

◆ 宿泊料 一圓五十錢、一圓三十錢、一圓二十錢、自炊は寢具持の方は五十五錢より七十五錢迄

◆ 注意 此の温泉の自宅は碓筋關村にあるから初め湯治の御方は本宅に立寄れば馬車や案内者を附して上げます、尙温泉の効能上に就て世間で彼此批難する向もある様なれども實効能あるから世間の悪評に迷はされずに御出で下さい、又此温泉場に行く途中に成田温泉がありますから間違はぬ様御注意を願います、賣店有り

南郡 碓ヶ 關村 大字 碓ヶ 關

湯ノ澤礦泉經營者

秋元 松太郎

■ 嶽 温泉

青森縣 中郡 岩木村 大字 常盤野

温泉は岩木山の北ろくにありて奥羽線弘前驛に下車し約三里にして百澤村に至る更に二里余にして温泉場に達す百澤よりは緩かなる上り道なれども馬車、自動車の便あり戸數二十、悉く旅館客舎にして内農家二三及學校あり部落の中央に大浴場を設けて共同使用す泉源は浴場より十丁の岩木ろくより湧出するものにしてそれを木樋を施して(寛政八年より)現仕の部落に導きしものなりと云ふも延寶八年の昔は百澤村の長五郎なる人之を開きし由にてその當時は現在より十丁離れし泉源地附近にありしと云ふ浴場の設備甚だ完備し湯量は非常に豊富にして數尺高き瀧をなして浴槽内に入る弘前驛より同温泉迄自動車二圓、馬車二圓、宿泊料一圓五十錢以上三圓迄自炊客一日分の費用室代五錢薪炭代五錢布團代三十五錢ランゾ五錢

■ 嶽 温泉 醫治効用

梅毒性及頑固の潰ちやう、慢性皮膚病、打身、切傷、脂肪過多、肝臟肥大吸呼器系諸病、痔疾、子宮諸病、胃腸病、痲瘋質斯、神經痛脚氣、痲病、消渴、せんき等

■ 分析表

本泉は微かに蛋白石濁を呈し硫黄水素臭及收けん性酸味を有す反應は酸性を徴す泉質硫化水素含有酸性綠泉温度は攝氏四九、五度

■ 鹽類表

クロールカリウム	〇、〇三六七	クロールトリウム	〇、四六六五	硅酸	〇、一五二一
クロールアルミニウム	〇、〇〇六八	クロールカルシウム	〇、四四一一	遊離炭酸	〇、一七五〇
クロールマグネシウム	〇、一四三九	硫酸亞酸化鐵	〇、〇三三九	遊離硫化水素	〇、〇二八九
硫酸アルミニウム	〇、三三四六	磷酸アルミニウム	〇、〇〇一〇	遊離鹽酸	〇、一一二四
遊離硫酸	〇、五二二三				

祝 發 刊

青森縣中郡岩木村長

山 崎 彦 彦 作

青森縣中郡岩木村大字常盤野

嶽 溫 泉 旅 館 客 舍

佐藤 久太郎
 赤格子事 中畑 勇太郎
 小島 正彦
 岩木館事 赤石 孫一郎
 秋田 藤五郎
 西澤 文一郎

一町田 友作
 富士見館事 范中 豊三郎
 一町田 惣七
 田澤 儀作
 西澤 健作
 常盤館事 工藤 淺次郎
 熊谷 安太郎

順不序間・東端よ・西方へ・方東ら

青森縣中郡岩木村大字常盤野
嶽溫泉場 溫泉區 客舍長 **佐藤久太郎**
 御來遊の方は總て御便宜を可計候

板留溫泉

青森縣南郡山形内大字板留
 奥羽線川邊驛乘換、黒石驛下車、川邊黒石驛間三等十錢、黒石驛より東へ二里二十丁、自動車七十錢馬車六十錢、溫泉地は淺瀬石川の溪流に沿ひ風景頗るよし名所中野山の紅葉は同所より北へ三四町にして遠く保養遊散何れも好適の溫泉なり溫泉の性質は無色清澄にして異臭を有せず反應は弱あるかり性を徴す
 泉質 石膏性苦味泉 比重(十五度)一、〇〇一九
 温度 五九、〇度(攝度) 固形物總量(水一キログラム中のグラム)二、〇二四四
 放射能 一、八〇
 内用 肥はん病、常習便秘、(消化器弛緩症)月經閉止期障害、輕度血管硬化症、下腹部臓器の充血、痔疾
 浴用 慢性りう麻質斯、神經痛、官能性神經疾患、皮膚病(殊に乾性さう痒症)
 尙中の湯、下の湯何れも醫治効用は前記上の湯と同じ

沖浦溫泉

青森縣南郡山形村大字沖浦
 沖浦溫泉は黒石驛より南へ三里余縣道淺瀬石川の上流第一發電所の場所にあり溫泉は川の兩岸に湧出し浴場二ヶ所あり休養せんとする士は民家を間借するものもあり設備も相當なり目今客舎旅館等出願せんとしつ、あり尙浴舎建築は多分本秋迄には新築落成するならん淺瀬石川溪流の美は沖浦に至りて益々よく發電所の大瀧は幅三十三間落下十一間にして四季によりてその轟々たる音と瀧の落下形態を異にし或はないやがらの瀑布の如く或は數万條の素めんを流しせるが如く春は万山つ、じを以ておほはる(十和田湖迄縣道四里)
 ◆熱の湯 本泉は無色澄明異臭味を有せず弱あるかり性を呈す
 泉質 弱食鹽泉 比重(十五度)一、〇〇一三 温度 九九、〇(攝度)
 固形物總量(水一キログラム中のグラム)一、一五六〇
 醫治効用は内用、浴用共に大鱈及藏館溫泉と同じ

祝 發 刊
 青森縣南郡山形村長
 木 村 慶 太 郎

南郡板留溫泉 溫泉客舎
 佐々木誠一
 齋川勘七
 大川三十郎
 櫻庭明男
 小川簾一
 小川元吉
 長谷川恒太郎
 丹羽小一郎
 和洋料理 かにや

二庄内温泉

青森縣南郡山形村大字二庄内

二庄内温泉は奥羽線川邊驛乗換黒石驛下車、同所より南へ縣道三里淺瀬石川の上流なり自動車一圓馬車一圓、浴場は理想的に完備し溪流にそふて漁出し浴槽内底の岩盤の清潔なること祇の如し湯量豊富附近に夏は發電所の淺瀬石川溪流の大瀧、秋は万山紅葉し其の景最もよし温泉客舎二戸、戸數二十數軒ありて十和田湖へ縣道四里強なり自動車、自轉車自由

本泉は無色澄明異味なく弱あるかり性反概を徴す

泉質 單純泉 比重(十五度)一、〇〇一 温度 六六、〇(攝氏)

固形物總量(水一キログラム中のグラム)二〇、八四七八 放射能 二、一〇

本礦水は其集成において一キログラム中次の成分を含有する溶液に概略相當す

クロールカリウム	〇、〇三〇一	クロールナトリウム	〇、三九七二	硅酸	〇、〇八一〇
硫酸ナトリウム	〇、〇一四	硫酸カルチウム	〇、二四一六	重炭酸カルチウム	〇、〇三二四
重炭酸マグネシウム	〇、〇三四八	遊離炭酸	〇、〇〇一一	重炭酸亞化鐵	〇、〇〇二九
硫酸アルミニウム	〇、〇一四五				

醫治効用

浴用 外傷性諸障害、慢性筋及關節、りう麻質斯、慢性濕疹、官能性神經病(ヒステリー)及神經衰弱(輕度の脊體病、中樞及末梢性麻痺(經久性半身不隨小兒麻痺)婦人生殖器の慢性諸病、慢性攝護腺炎、諸病恢復期、腺病質

設備 温泉客舎 千葉末太郎

青森縣南郡山形村大字二庄内浴場の隣地

御來遊の方々には名所御案内は勿論万事御便利を計り御満足を與へ可申候

南郡大鰐町

内湯 後藤旅館

後藤善四郎

電話 十三番

蒸風呂 全分館

電話 番

南郡大鰐町

温泉客舎

内湯 田口季盛

電話 番

内湯 葛原旅館

南郡碓ヶ關溫泉場

平賀川河畔

三層樓 眺望絶佳

日景温泉

日景温泉は秋田縣北秋田郡矢立村奥羽線陣場驛より僅かに十五六町あります陣場驛温泉場間客用乗合馬車の設備がありまして各列車毎に停車場にて御客の御出でを待つて居ります

一、同温泉の性は硫化水素含有酸性硫黄温泉で「ラヂウム」が多量に含んでありますから効能の顯著なる事は廣く世間の認むる處となり特に三日一週りの温泉 世の好評を受けるに至つたのでありますから春夏秋冬浴客の絶ゆる事がありません殊に夏期は避暑地としての好適地でありまして郵便は日々白澤局より配達になり各所の新聞を取り寄せ出來得る限り御客の便宜を圖つて居ります温泉の分折や主治効能は別項の通りであります

一、湯治をなさるには宿泊賄付(はたご)と自炊と二ツに區別してあります宿泊賄付とは室料入浴料食料夜具料石油炭代共全部を含み料金は左記の通りです……自炊とは御客自身が何にもかも悉皆するのです

宿泊賄付湯治料 上等 一日三飯 三圓五十錢 並等三飯 二圓八十錢(一泊又は日歸りの御方は此限りではありません)

宿泊賄付湯治料	人員	特等室	一等室	二等室	三等室
一人ノ時	金七十錢	金五十五錢	金四十五錢	金四十錢	金三十錢
二人ノ時	金一圓	金八十錢	金七十錢	金六十錢	金五十錢
三人ノ時	金一圓三十錢	金一圓〇五錢	金九十錢	金七十五錢	金六十錢
四人ノ時	金一圓六十錢	金一圓三十錢	金一圓十錢	金九十錢	金七十錢
五人ノ時	金一圓九十錢	金一圓五十五錢	金一圓三十錢	金一圓〇五錢	金九十錢
六人ノ時	金二圓二十錢	金一圓八十錢	金一圓五十錢	金一圓二十錢	金一圓十錢

一、入浴料は一人一日に付き金三錢づつ(七才以上を一人として勘定致します)

一、室料に限り滞在日數十日以上五歩二週間以上七歩三週間以上一割一ヶ月以上二割の割引を致します要するに人數が多いと割安になりますから知合等を誘ひの上なるべく多人數御出での方は徳です

貸室各等料金表

一、貸室類料金 夜具 一組一夜 金十錢 座蒲團 一枚一日 金三錢 厚袍 一組一日 金廿錢 浴衣 一枚一日 金十錢

一、タイム(瀬戸)張り最新式高等浴場もあります 一、自炊の御客には食器は無料にて貸上げます 一、食料品日用品は無漏取揃ひ販賣して居りまゝから何等の不便を感ずる事はありません 一、驛前に御客案内所待合所の設備あります 一、入浴回数三回乃至四回にして入浴時間は脱衣掛湯を含みて五分間とします朝は六時頃一面晝十二時一回午後四時頃一回日没後一回、朝は湯内に瓦斯が充滿してゐるから湯番は浴殿内を掻まわして其の氣を散逸せしめたる后一般御客を入浴させてあります、浴場内には泉水を二個所に引き入れ飲料及頭部を冷やすに用いて居ります

同温泉は曾て勅定の藍せう褒章を拜戴したる故日景辨吉翁か明治二十六年中開拓せる地にて海拔八百二十六尺日本三大美林の一たる下内澤國有林中にあり老杉古檜蒼蒼として恰も翠屏を並べたる如く南一麓を開き境域幽する山水秀麗眞に世外新天地の感あり清淨なる飲料水はかけひを以て各戸に通ずるなど諸事至便實に理想的の静養治療に絶好の温泉場なることは茲に喋々と數言を用ゐる必要はないかと思はれます尙客室は六十以上ありますから何時御出でになつても差支ありません

検査成績表

北秋田郡釋加内村 願人 日景辨吉

本泉は無色透明鹹味として著しく硫化水素臭あり大氣中に放置するときには硫黄散出して白色に混濁す反應は酸性にして一リットル中に含有する固形分は一四、七七四八グラムなり今その各成分及量を示すこと左の如し

硫酸 〇、一〇六〇 重炭酸加爾シム 二、二二二五 格魯兒篤倫リム(食鹽)一一、〇三〇六

硫酸鹽俱ネシム 〇、八八八〇 硫酸亞酸化鐵 〇、五三七七 硫酸メッパン(硫酸亞酸化鐵に算入)計一四、七七四八

泉源實地の検査に據れば本泉は海面より高きこと殆んど七百尺の所に湧出して大氣攝氏二十四度に於て四十四度(華氏百十一度)を示し一リットル中に遊離する硫化水素瓦斯の量左の如し 「硫化水素瓦斯 〇、二二四六」

明治廿六年十月十一日

検査主任 秋田縣技手 羽生正保印

此の鑛泉の質たる酸性硫黄温泉なるを以て刺激性及收けん性を有し故に適宜に之に浴するときには皮膚を刺戟して介達に其血流を亢進せしむる耳ならず大に新陳代謝を旺盛にし以て健康組織の再生を透進し有害の物質を排せつし之をして健康清新ならしむる等その効蓋し偉大にして實に天賜の妙劑と謂ふも亦過言ならざるべし而して之を内外諸症に用るに於ては一は倍量の淨水を加へ之を稀薄となし服用し一は單に之を綿布に浸してあん法料に供するも亦佳なり今其の適應症を概舉するに

主治効能

- 一慢性皮膚諸病(殊に濕疹、ひぜん、慢性潰瘍、梅毒性發疹及皮膚潰瘍)其他皮膚の薄弱なるもの 一慢性りう麻質斯 一尿酸性關節炎(痛風) 一慢性骨及骨膜炎 一婦人生殖器慢性諸病(白帶等) 一慢性胃腸諸病 一諸種の痔疾 一腺病攝護腺炎 一膀胱加兒 一經久頑固の梅毒 一諸種の創傷或は打撲後腫脹若しくは硬結を殘せるもの 一貧血病 一諸種の神經病 一重症後の恢復期(以上入浴して可なり)
- 一慢性咽喉加兒及咽喉頭諸病には適宜其泉を稀薄とし吸入すべし
- 一肝臟充血常習便秘及諸痔病同上適宜稀薄として内服すべし

日景温泉新湯(湯一名眼の)

北 秋田 郡 矢立村 大湯 澤 日景 辨 吉氏 經營

■ 鑛泉 分析 成績 書

外觀無色透明無味無臭反應弱亞兒加里性	比重	一、〇〇〇五	固形物	〇、七〇二五	硫酸	〇、〇二九七五	
酸化鐵及メウロンバ	〇、〇〇一四一	硫酸	〇、〇〇六七八	全結合炭酸	一	磷酸	一
カルシウム	〇、〇七一二六	マグネシウム少量	シロール	〇、三二二〇〇	カリウム	〇、〇一一一〇	
ナトリウム	〇、二二〇九九	其他					

右は本泉一リットル中に含有せるグラムの量にして比重は攝氏十五度の時なり以上成績に徴するに本泉は弱鹽類泉に屬するものなり

■ 主治 効能

一 重症後の恢復期 一 諸種の神經病諸種の創傷或は打撲後腫脹若しくは硬結を殘せるもの 一 頭痛のばせ病の人 一 慢性りう麻質
斯一トラホウム突目 一 其の他眼病一切 一切傷あせも、ただれ 一 逆性より生ずる病氣一切によし要するに眼病一切に効能顯
著なり

日 景 辨 吉 翁

日景辨吉翁は嘉永元年十二月廿六日北秋田郡釋加内に生れ大正三年六十七才にて没せり明治十八年勸業教育に功勞あり藍授褒章賜る明治二十七年三月釋加内近村に樹林數万本寄附栽植したるにより縣より銀盃一組賞與、明治四十四年四月北秋田郡教育會名譽會員に推選されたり明治四十一年九月十九日先帝陛下行啓せられ、や氏の多年の功績を聞召され畏くも令旨を賜はる明治四十二年一月五日宇都宮に於て先帝陛下御統裁の大演習ありれう旨により同市に開催されし宮内省の宴會に招待の恩命を拜せり明治十三年九月龍駕を東北に御巡らさる、や氏の開懇地の亭に御小けいかり拜謁を許され三組銀盃並に金員御下賜あり且杉宮内大輔の筆を以て假山に駐れん邸の御下名あらせらる同日大館行在所に於て有栖川左府宮殿下に拜謁御満足に思召さるこの御誼ありたり同月十六日北白川宮殿下船川港に御成りあらせらる、につき御案内を承れり能代港町の旅館に於て徳大寺宮内郷より「新懇のそいさほしもたか丘にみ車をさへごどめましけり」この國風を與へられたり

青森縣淺虫温泉

内湯

椿

旅

館

電話 三番

青森縣淺虫温泉驛側

春日館

佐藤

春治

青森縣中津輕郡岩木村大字常盤野舊嶽
洋酒罐詰醬油木炭雜貨商

嶽温泉

温泉 客舍

岩木館

不 赤石 孫一郎

電 畧(アカ)又ハ(ア)

岩木館は浴場に最も近く高燥地にあり眺望佳絶、萬事清潔親切を旨とし町重に御取扱可致候に付、當地御來遊の際は是非御立寄り被下様總て御便宜を與へ申候

國六公園及補形十和田湖近道通路
東部國大務理部附屬高田植物研所建設中

八甲田山腹 天下の靈泉



三日一廻りの
すかゆ
酸ヶ湯温泉

青森縣東津輕郡八甲田山中

青森市より横内村を経て南へ

酸ヶ湯温泉組合帳場

昭和二年八月二十日印刷
昭和二年八月五日発本

(定價五圓)

青森縣東津輕郡八甲田大字大野字金澤一六七番地
青森縣東津輕郡大野村大字大野字金澤一六七番地
青森縣東津輕郡大野村大字大野字金澤一六七番地

終